

奈良女子大学 大学院人間文化総合科学研究科

奈良女子大学博士号取得支援SGCフェローシップ運営委員会 御中

令和3年度入学者・令和4年度入学志望者採用分奈良女子大学博士号取得支援SGCフェローシップに応募するため、下記のとおり申請いたしますので、よろしくお願ひします。

令和3年度入学者・令和4年度入学志望者採用分 奈良女子大学博士号取得支援SGCフェローシップ申請書

1. 申請者情報等

記入日： 年 月 日

令和3年度入学者 ・ 令和4年度入学志望者 (該当する口に☑を記入してください。)

フリガナ 氏名	
連絡先	住所： 〒 電話番号： E-mail:
学歴 <small>編入等がある場合は適宜行を追加してください</small>	年 月 高等学校 卒 年 月 大学 学部 学科 コース 入学 年 月 大学 学部 学科 コース 卒業 年 月 大学 大学院博士前期課程入学 年 月 大学 大学院博士前期課程修了 年 月 大学 大学院博士後期課程入学
現在の所属等	1. 大学名： 2. 研究科名： 3. 課程名： 4. 専攻名： 5. コース名： 6. 学年：
現在の研究指導者 (または推薦者)	1. 氏名： 2. 大学院研究科名： 3. 職名： 4. 連絡先： E-mail Tel

2. 研究計画 (※適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記入してください。なお、各事項の字数制限はありませんが、研究計画(1)、(2)全体で2頁以内に収めてください。様式の変更・追加は不可。)

(1) 現在行っている研究の概要 (当該研究分野の状況や研究の背景、研究の意義なども含めて記入してください。)

(2) 博士後期課程で行おうとしている研究テーマと研究目的、研究方法、研究内容等

① どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、3年間の標準修業年限内に博士の学位を取得することを意識しながら、具体的に記入してください。

② 研究の特色・独創的な点(先行研究等との比較、本研究の完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等)にも触れて記入してください。

③ 研究計画が所属研究室としての研究活動の一部と位置づけられる場合は申請者が担当する部分を明らかにしてください。

④ 研究計画の期間中に受入研究機関と異なる研究機関(外国の研究機関等を含む。)において研究に従事することも計画している場合は、具体的に記入してください。

(2. 研究計画 つづき)

3. 研究遂行力の自己分析 (※各事項の字数制限はありませんが、研究遂行力の自己分析(1)、(2)全体で2頁以内に収めてください。様式の変更・追加は不可。本申請書記載の研究計画を含め、当該分野における(1)「研究に関する自身の強み」及び(2)「今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素」のそれぞれについて、これまで携わった研究活動における経験などを踏まえ、具体的に記入してください。)

(※) 本行を含め、以下の斜体で記した説明文は申請書を作成する際には消去してください。

- ・ 下記(1)及び(2)の記入にあたっては、例えば、研究における主体性、発想力、問題解決力、知識の幅・深さ、技量、コミュニケーション力、プレゼンテーション力などの観点から、具体的に記入してください。また、観点を項目立てするなど、適宜工夫して記入してください。

(1) 研究に関する自身の強み

(※) 本行を含め、以下の斜体で記した説明文は申請書を作成する際には消去してください。

- ・ 記述の根拠となるこれまでの研究活動の成果物(論文等)も適宜示しながら強みを記入してください。

成果物(論文等)を記入する場合は、それらを同定するに十分な情報を記入してください。

(例) 学術論文(査読の有無を明らかにしてください。査読のある場合、採録決定済のものに限ります。)

著者、題名、掲載誌名、巻号、pp開始頁-最終頁、発行年を記載してください。

(例) 研究発表(口頭・ポスターの別、査読の有無を明らかにしてください。)

著者、題名、発表した学会名、論文等の番号、場所、月・年を記載してください。(発表予定のものは除く。ただし、発表申し込みが受理されたものは記載してもよい。)

(2) 目指す研究者像と本フェローシップを利用して身につけたい研究に必要な能力・要素、および博士の学位取得後のキャリアに関する抱負

(3. 研究遂行力の自己分析 つづき)